まえがき

これはまえがきです。

この原稿は <u>VFM (Vivliostyle Flavored Markdown)</u> で書かれています。詳細はドキュメントを確認してください。

ソースコード

function main() {}

キャプション付き

```
app.js
function main() {}
or
app.js
function main() {}
```

後注

VFM は GitHub リポジトリ $\underline{1}$ で開発されています。 issue は GitHub $\underline{2}$ で管理されています。 後注はインラインで記述することもできます $\underline{3}$ 。

Frontmatter

Markdown ファイルの冒頭で、メタデータを設定することができます。詳細は <u>Frontmatter part in VFM document</u> を確認してください。

改行

デフォルトでは、空行を1行はさむことで改行が行われます。Frontmatter で hardLineBreaks を true にすると、空行なしで改行が行われます。

はじめまして。

Vivliostyle Flavored Markdown(略して VFM)の世界へようこそ。 VFM は出版物の執筆に適した Markdown 方言であり、Vivliostyle プロジェクトのために策定・実装されました。

画像



キャプション



Vivliostyle Logo



Vivliostyle Logo

数式

インライン: x = y

ディスプレイ:

$$1 + 1 = 2$$

HTML

Hey

Markdown と HTML の併用

- hoge
- fuga

ルビ

This is Ruby

- 1. <u>VFM</u>←
- 2. <u>Issues</u>
- 3. これは後注です。 👱

あとがき

これはあとがきです。